



鶴の便り 鶴の便り

夕鶴の里資料館報

平成28年5月20日

第 65号
発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

おきたま語り フェスティバル 開催します！

今年度で第七回目を迎える、『おきたま語りフェスティバル』が、来る六月二十六日(日)に開催されます！

置賜地域で活動する、十一の語りの団体で構成される「おきたま語り部の会」が主催です。大人の語り、子供の語り、両方を聴いて頂きます。

大人の語りは、おきたま語り部の会の発表、子どもの語りでは、高島町立高島小学校児童、米沢市立愛宕小学校児童が語りを披露します。

入場料は無料です。置賜地域それぞれの語りを、是非聴きにいらしてください！

昨年度のおきたま語りフェスティバルの様子



- ◆おきたま語り部の会
米沢市「とんと昔の会」
南陽市「民話会ゆうづる」
「夕鶴の里友の会」
高島町「まほろば語り部の会」
「二井宿語り部の会」
「たかはた地区 語り部の会」
- 川西町「川西昔ばなしの会」
長井市「長井小町の会」
「平野昔語りの会」
白鷹町「鮎貝語り部クラブ」
小国町「話部ゆるり座」

第七回
「おきたま語り
フェスティバル」

◆日時：六月二十六日(日)
午後一時三十分～

(午後三時終了予定)

◇大人の語り

◇子どもの語り

◆会場：夕鶴の里

語り部ホール

◆入場料：無料

◆主催：おきたま語り部の会

◆お問い合わせ

夕鶴の里

TEL 四七・五八〇〇

(おきたま語り部の会事務局)

※当日は、駐車場の混雑が予想されますので、無断駐車はご遠慮下さい。



花いっぱい運動

今年も花植えを行いました！

いちようの家さんの、サルビア、マリーゴールド、ペゴニア、ペチュニアを、プランターに植え、玄関までの通路脇に並べました。色が鮮やかで、とても綺麗です。



お蚕様、来るよ～

今年も、お蚕様が夕鶴の里に来ます！
6月の月上旬には到着予定です。



会いに
来てね♪

平成二十八年度 昔のあそび 予定

今年度の昔のあそびの内容が決定しました。初めて行う内容もあります！楽しい体験になるように、職員も張り切って準備を進めています。是非、みんなに来てね♪

☆七月二十三日(土)
ペットボトルでピザ作り

☆九月二十四日(土)
折り紙で珍しい鶴を折ろう！

☆十一月二十六日(土)
まゆ玉で遊ぼう

☆一月二十八日(土)
海苔巻きを作って食べよう

ピザの試作です！



※都合により内容が変更になる場合もあります。

ビッキ(蛙)石

中川地区に、「ビッキ石」と呼ばれる、蛙のような形をした、大きな石があるのをご存知でしょうか。その石には、こんな伝説が伝わっています。

●-----●
昔のことだど。

村の次郎どんが、大洞の田んぼで、一人で田の草とりしつたけど。

「ああ暑いなあ。このぶんだと今年も豊作でまちがいなしだな」

独り言をいいながら、もくもくと田の草とりをしつたけど。

「どうれ、いっぶくすつか」腰をのぼしていたら、後ろの方からへんな音が聞こえてきたけど。

「よく聞くとその音は、ビダッビダッ。ビダッとだんだん近づいて来たど。

「なんだべど思つて、ヒョイツと後ろを向くと、大きなものが、ぬーつとすわつていたつけど。

「ヒヤーツなんだこれは」次郎どんはたまげて、腰がぬけるほどだつたど。

「よつく見つと、それはなんと大っきなビッキだつたど。

「ビッキは、汗だらだらかいて、ジーツと次郎どんの顔みて、なにかいいだそうにすつたつけど。

「こまつたなー どうすつへ」

「だれか来ねがなー」

「あつちこつち見ても、だあれもこねがつたど。」

次郎どんはおつかねげんども、そーつとビッキのところさ行つて

「ビッキどのビッキどの、なにすつたなや」

声かけでみだんだど。するとビッキは

「おらあ、村山の白竜湖の主だつたげんど、赤湯の白竜湖ちゆうところがつとなええどこだど聞いたもんで、来てみだなよ」

「ほんじゃビッキどの、白竜湖までいぐのが」

「んだ、白竜湖はまだだべが」

「いやいや、白竜湖まで行くには、鳥もやつと登るといわれる鳥上坂や、登るのに十年もかかるという十年坂があつて、ちよつとやさつとのことであんめえ」

と教えだんだど。

するとビッキは、

「うわあ、そんな坂あんながあ。おらこわくてこわくて、とつても行かれそうもないがら、ここで石にでもなつかな」

つていったんだど。

せつかくここまで来たんだもの、もうひとがんばりだべど思つた次郎どんは

「そげなごどいわねで、ここでひと休みして、明日ゆつくりでがげつとええごで」

励ましたげんどビッキは、

「おらもう一歩も あるがんにえは」

ぺたつと腰をついて

「やつぱり石になつて」

たちまち石になつてしまつたんだど。

それが、大洞さあるビッキ石だど。
そのあたりは『蛙(ビッキ)石と小字名になつて、今も残つているんだど。』

とおびんと

「伝えていきたい

『中川の伝説』より



※ビッキ石は現在、高速道路工事のため、場所が変わつてしまつてしまつたそうです。